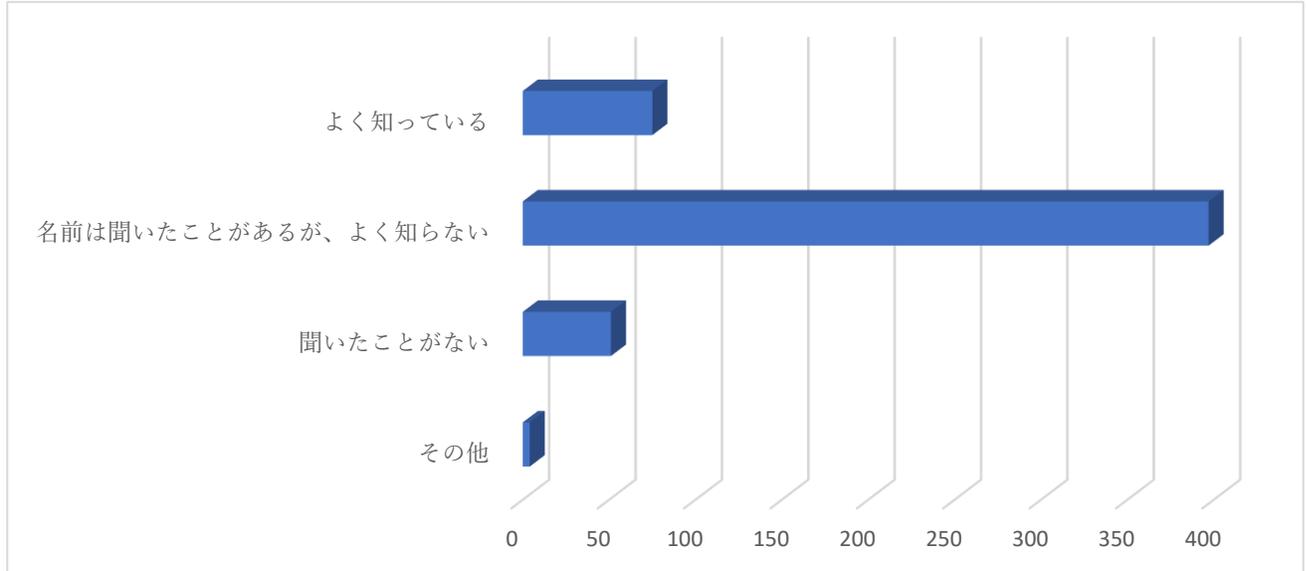


デジタル改革関連

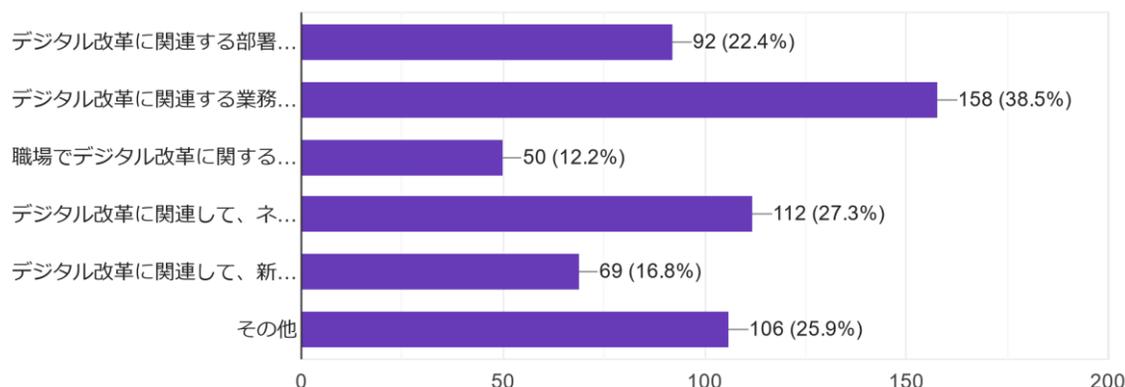
Q.1 デジタル改革について知っていますか。



自由記述

- 政府が掲げる施策は、どれもアドバルーンとして挙げるのはよしとしても、どれも時間が経つと萎んでしまうものが多い。もっと専門家や有識者と広く忌憚なく議論して、何がもっとも重要か、DX 関連やベンチャー企業への支援など含めてもっと有効的な施策を打って出てほしい。
- 上記の説明を読んでも、改革というほどの大げさなことですか、粛々とやればいい話ではないですか、という気がします。
- 関係ない
- 大まかに知っているが曖昧
- 施策にある項目には知っているものが多くあるが、それをまとめてデジタル改革と呼ぶことは知らなかった
- ニュースなどで取り上げられた内容は知っているが全容は理解していない。

Q.2 あなたの職場で、デジタル改革に関連した動きはありますか。（複数回答可）



Q.3 その他の方、デジタル改革に関連して、職場で行われていることがあれば、お書きください。例) 個人情報の取り扱いが変わった。一部で押印が廃止された。データベースの構築を命令された。マイナンバー取得が推奨されている等。

- 職場にたった1台のPCに自分のIDでログインして、職場内、外とメールやデータのやり取りが出来る。
- 一部で押印が廃止された。
- マイナンバー取得の推奨
- 勤務管理や調達等のオンライン化を行おうとしているが、現場の意見を聞かず業務フローから遊離したものになっており大失敗している。
- 出退勤がオンライン化されつつある、マイナンバー取得が推奨されている、オンライン会議の増加
- 勤怠管理、休暇関連、会計システムのオンライン化
- 押印の稟議が廃止された。
- 管理部門に部署は出来たが、実質的な変化はない。勤怠管理のシステム化も、スケジュールありきで強行しようとしたが、結局まだうまくできていない。
- 一部で押印が廃止された。ただし、書類が必要な業務はどんどん増えている。
- デジタル化が進み押印がなくなるのは歓迎である。ただマニュアルがなければ、入力操作が難しいものが多い。例えばアマゾンや楽天のように、マニュアルなしでも感覚的に操作

できるまでシステムを熟成させる必要がある。いつまでたっても、事務方が細かくチェックしないと処理が進まない状況ではいけないと思う。

- DX 推進室ができた。
- 農研機構全体で、勤務の出退管理や休暇簿申請などが、紙ベース（押印）からオンライン承認に変わりつつある。
- 明らかに余計な手間が増えた。
- いくつかのオンラインシステムが構築され、これまで担当者が行っていた業務が各個人で行うようになり、個人の業務が増えて効率が低下した。
- 旅費・備品購入や出退管理をシステム化しようとしているが混乱している。
- システムの仕様に振り回され、人間の仕事が実質的に減ってない。システムの仕様に s 依存して人間の対応が決まる(足を靴にあわせる、と同じ)。
- 押印廃止が進んでいる、セキュリティも強化されている。
- 紙ベースでの申請手続きや押印など、デジタル改革が遅れていると感じる
- デジタル改革が直接の理由でないがテレワーク、保険証とマイナンバーの連動など
- 一部で押印が廃止された。コロナ禍の影響もあるが、Zoom や Teams での会議、講習会の
- 一部で押印が廃止やデータベースへの情報登録を命令されたが、その改革によってむしろ unnecessary な業務が増加し、また手順も煩雑化している。
- 勤怠システムが利用開始され（従来の出勤簿等と併用）ているが、導入に当たり、周知が不十分・システムが不安定で、混乱が生じていた。今現在はだいぶ落ち着いているが、ストレスにはなったと思う。
- 押印が廃止された。ただ、これからメインは検討するという印象。
- 「デジタル改革の一環で〇〇を導入します」といった事を聞いたことがない。そのため、近年のマイナンバーカード推進や人事給与システム導入、会議のオンライン化などが「デジタル改革」に関連しているかどうかは不明である。
- 出勤管理等のデジタル化がすすめられているが、システムの対応が追い付かず、押印による従来の管理、デジタルによる管理の両方を平行して行う状況になっている。
- マイナンバー取得の推奨、出勤簿の Web 打刻、IC カード打刻
- そもそも DX に関する周知案内、改革の動きが当所では無さそうである。
- 幹部の PC タブレットを面倒を見る人の負担が増えている。幹部（役員）の負担を減らすために職員の負担が増えるなら DX は不要。
- 一部の手続きで紙の書類によるやり取りが廃止された一方で、逆に紙と PC の両方で手続きが必要になったものもある。

- 押印の一部廃止。データベース構築、勤怠管理システム導入
- 勤務管理にデジタルシステムが導入されることになった（が不具合も多いらしい）デジタル決済が導入された。
- 会計システムで押印が無くなった。しかも、納品が遅いとかの致命的な問題は未解決である。何のために改革するのか考えてやってほしい。改革することが目的になってないか？
- 押印が不要なものが増えた。書類のオンライン提出が多くなった。出勤管理がオンラインかされつつある。
- 事実上、強制的に給与明細を電子化された。
- 全てデジタル化すればいいわけではない。よりコストあるいは労力の少ない方法を
- 出勤簿、休暇簿等、押印を必要としていたもののデジタル移行中（現在は両方行っている）
- 現在の業務量、人員数のままデジタル改革に取り組むための新たな業務が発生したため、通常業務の大幅な送れにつながっている。デジタル改革専任者（担当部署）を作り、それに集中させないと改革は進まない。
- 外部へ添付ファイルを付けたメールの送受信にパスワードを付けるようになった
- 基礎データ（ユーザ情報等）の集約化の見直し検討
- 職場では順次、デジタル改革が行われています。
- 他機関から提出いただく申請書様式で、押印が廃止されたものがある。
- マイナンバーカード取得の推奨。電子給与明細への切り替え。
- 電子決済等の仕組みを導入するのはよいが、システムの不具合、システム間の連携がない等、使い勝手に問題が多すぎる。現場のやりやすい環境を整えるという考えに乏しいのではないか。
- 人事給与システムが稼働しない。日常使用するシステムをまず稼働させるべき。一生に一度か二度しかないものまで盛り込むので、システムが複雑になりすぎるのではないか。まずは毎日使うものだけを導入するとかの知恵はないのか。
- 新たな人給システムなど始まったが本格稼働にはまだまだ時間がかかる様子
- デジタル改革 DX化と称して次々と新システムを導入しているが①～⑨のどれ一つ満たしていない。現場に合わないでそこないの業務システムのせいで業務拡大している。
- 様々ことがデジタル化になり便利になると期待していたが導入されたシステムがあまりに poor で使い物にならない。置き換えが進まず結局現行制度と平行になり、一部では業務が増加していると聞く。
- 先にも書いたが中間管理職、また、経営層の IT・情報システムに関する知識不足

- 所内の起案や、物品購入・入札など、電子化が非常に遅れている。
- 人事給与システムの運用が始まったが、打刻や休暇申請がスムーズに機能していない。
- パスワード付のアプリをインストールする作業が増えた
- 物品調査や火元責任者の調査等がいまだに Excel ファイルをメール等で各担当者に送付し、修正・確認後、事務担当に送付し、事務担当は集まった Excel ファイルを切り貼りしてリストを作っている。当然ミスや更新見逃しがあるなど、いつまでたっても情報が更新されないことが多々ある。DX とはほど遠い方式のままでデジタル化が進んでいるとは思えない。
- 具体的に「デジタル改革」なのかどうかよくわからない。しかしながら、上記の例に書かれていることが、少しずつ一部始まっていることから、「関連の動きあり」ということなのかもしれない。
- デジタル化改革の声の下で不必要な事務仕事が増加している
- 研究申請、給与や就業に関わる手続きが一部オンライン化された。
- USB メモリーの情報機器管理登録
- 局議で検討されている
- 押印が段階的に廃止されている。調達においてセキュリティ等の要件が厳しくなった。
- 給与明細が PDF ファイルに変わった
- デジタル改革の名のもとに行なわれたのか経費削減のために行なわれたのかわからない印刷体配布の中止で不便が生じている。
- 一部で押印が廃止されたデジタル改革の名の下に、非効率なシステムの導入が一方的に進められている。頭の中が古い人間がデジタル改革をやろうとしているので逆効果だ。